

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:北海道 室蘭土木現業所

事業の名称:室蘭圏都市計画道路

3・3・303登別温泉通外1 街路事業

実施都市名:北海道 登別市

事業目的

3・3・303登別温泉通は、JR室蘭本線登別駅を起点とし、登別温泉までの約7.7kmの都市計画道路です。登別駅、道央自動車道「登別東IC」及び国道36号と全国有数の主要観光地である登別温泉を結ぶ重要な役割を担っている。

3・3・303登別温泉通の整備により、温泉街の交通混雑を解消し、温泉街へのアクセス機能の向上、災害時の避難ルートの二重化など交通混雑緩和による環境改善や地域の防災性の向上に寄与するものである。

事業概要

事業名：室蘭圏都市計画道路3・3・303登別温泉通外1街路事業

路線名：3・3・303登別温泉通

事業箇所：登別市登別温泉町

事業延長：1.110km

幅員：17m(2車線)

総事業費：約190億円

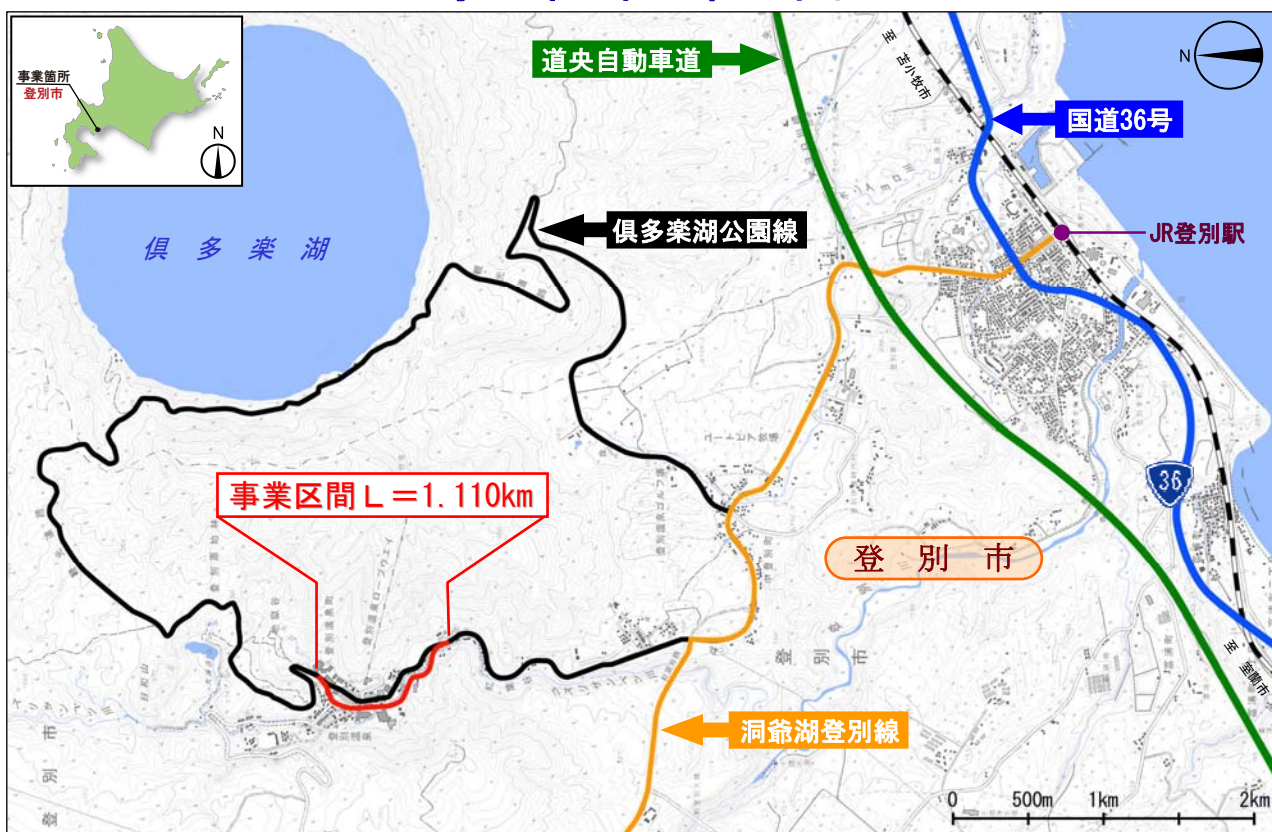
事業期間：平成3年～平成20年

本事業は、温泉街を縦貫する唯一の道路でホテル等が立ち並び幅員狭小な倶多楽湖公園線とは別に、新たに1.110kmを整備したものである。

旧道における大型車すれ違い困難区間の解消、温泉街における交通渋滞の緩和、温泉街へのアクセス向上、さらにはゆとりある歩行空間の確保を行った。

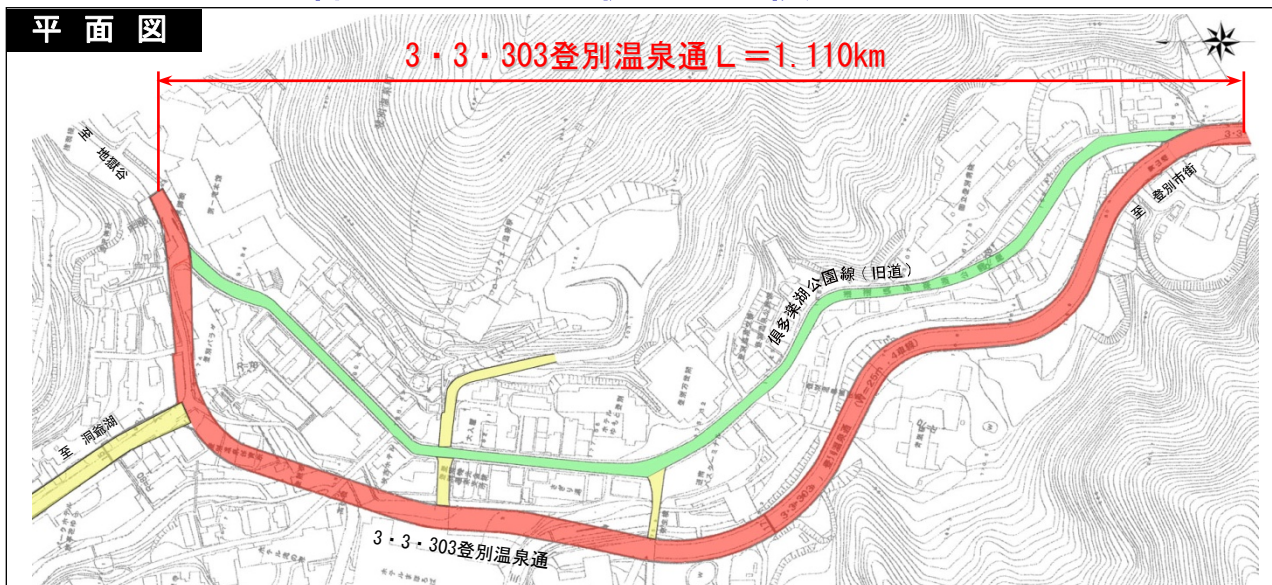
また、事業箇所は全て支笏洞爺国立公園内であることから、擁壁などの構造物表面の自然風仕上げや、橋梁の桁や歩道柵などの付属物の色彩統一、歩道のインターロッキングブロック舗装など景観に配慮した整備を行った。

事業位置図

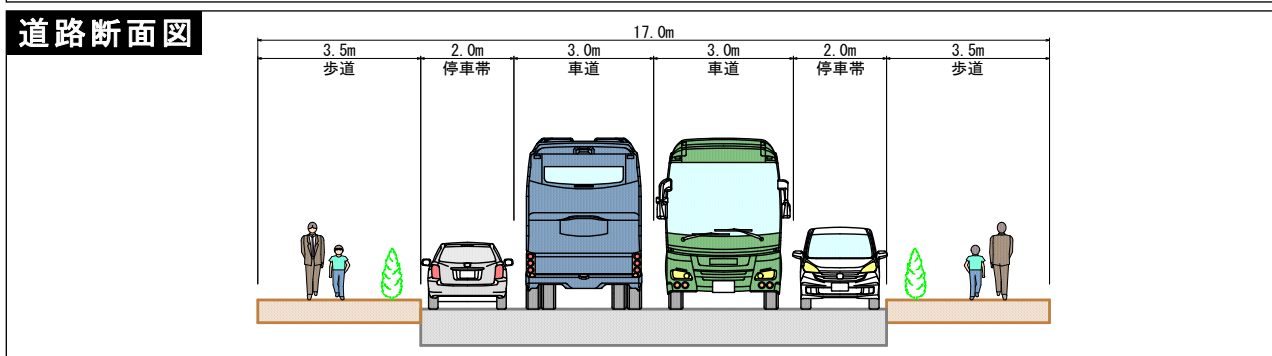


全体図(平面図・側面図・横断面図)

平面図



道路断面図



3・3・303登別温泉通の整備効果アピール資料

事業概要

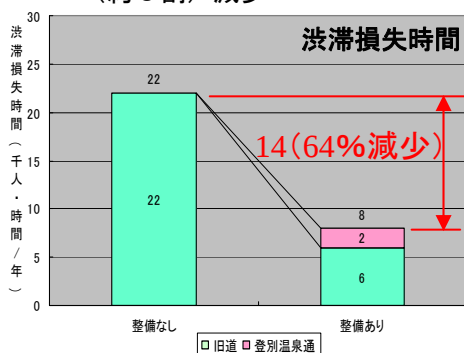
事業名：室蘭圏都市計画道路
3・3・303登別温泉通外1
街路事業
路線名：3・3・303登別温泉通
事業箇所：登別市登別温泉町
事業延長：1.110km
幅員：17m（2車線）
道路規格：4種2級
設計速度：40km/h
総事業費：約190億円
事業期間：平成3年～平成20年



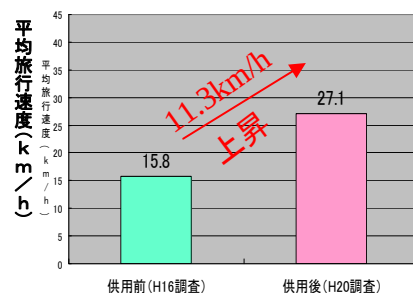
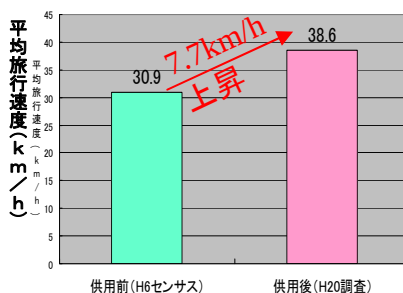
3・3・303登別温泉通の整備効果

①渋滞・混雑の解消

○渋滞損失時間が年間14千人・時間（約6割）減少



○整備区間全体の旅行速度が約8km/h 向上、店舗等が密集し最も人通りが多い箇所では約11km/h向上

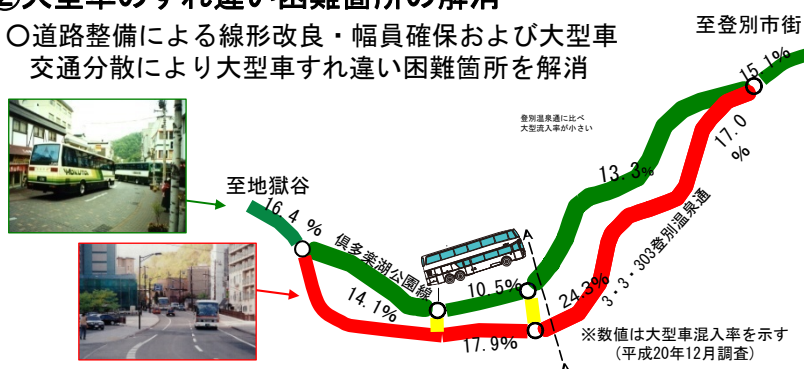


路線全体

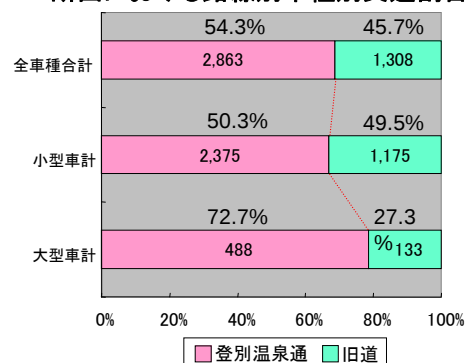
人通りが最も多い箇所

②大型車のすれ違い困難箇所の解消

○道路整備による線形改良・幅員確保および大型車交通分散により大型車すれ違い困難箇所を解消



A-A断面における路線別車種別交通割合



③環境や景観に配慮

○道路に擁壁前面の自然風仕上げ、歩道柵などの色彩統一等を図り、沿道環境や景観に配慮



④他機関との連携

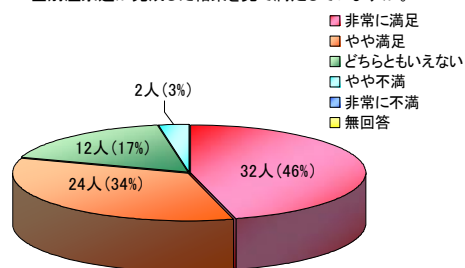
○登別市による公園整備との連携



⑤地域住民等のアンケート結果

80%が『満足』と回答

登別温泉通が完成した結果を見て満足していますか。



事業前写真

昭和60年撮影



平成元年10月撮影



平成元年6月撮影



平成元年10月撮影



平成元年6月撮影



事業後写真

平成20年11月撮影



平成20年6月撮影



平成20年7月撮影



平成19年8月撮影



平成19年8月撮影



■ 旧道の利用状況：『登別地獄まつり』では、歩行者天国化して賑わう